



医師会加入

当院は開院して18年目を迎え、この度2021年6月1日付で宇和島医師会に加入しました。開院以来、どうすればこの地域に必要とされる病院になり得るかを模索しつつ現在の病床編成へと変化し、また、救急医療の一端を担うなどの活動を通じ、ようやく地域の先生方からも一緒に宇和島の地域医療を守っていきましょう!と賛同を得たことを嬉しく思います。今後さらに地元の先生方との交流を密にし、当院がより地域に貢献できる風通しのよい病院になれるよう職員一同頑張っていく所存です。どうぞこれからも当院をご支援賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

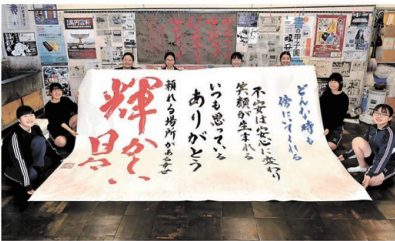


保坂 征司 院長

愛媛新聞に掲載されました!

四国中央市の三島、川之江高校の書道部員が、新型コロナウイルスと向き合う医療従事者へメッセージをしたためた。太く大胆な文字で「輝かしい日々」「感謝」と揮毫(きごう)。心からの感激がにじみ出るような仕上げで、部員たちは「これを見て元気に、笑顔になってほしい」と願っている。作品は今夏、大阪府・福岡県・沖縄県の3病院に飾られる。

四国中央 三島・川之江高書道部



①「輝かしい日々」
②「感謝」
③「医療従事者へ」
④「ありがとう」
⑤「元気に笑顔になってほしい」

元気に 笑顔に 心込め

医療従事者に「感謝」揮毫

輝かしい日々と笑顔に心込め、医療従事者へ感謝の言葉を込めて、太く大胆な文字で「輝かしい日々」「感謝」と揮毫(きごう)。心からの感激がにじみ出るような仕上げで、部員たちは「これを見て元気に、笑顔になってほしい」と願っている。作品は今夏、大阪府・福岡県・沖縄県の3病院に飾られる。

愛媛新聞 2021年7月3日付
愛媛新聞社提供

第14回 全国高校書道パフォーマンス選手権大会

書道パフォーマンス甲子園の本選が7月25日(日)、伊予三島運動公園体育館で行われ、「医療従事者への応援メッセージ」制作に協力してくれた三島高校書道部が三位に入賞しました。

ご縁をいただいた当院も医療ボランティアとして参加したこの大会は、昨年は新型コロナウイルスの影響で中止となったため、2年ぶりの開催となりました。

全国102校の中から予選を勝ち抜いた21校による書道パフォーマンスは、各校それぞれに創意工夫をこらしたパフォーマンスと美しく迫力のある書でメッセージや決意、それぞれの想いを表現していました。

三島高校の書道パフォーマンス



迫力のある書



三位入賞おめでとうございます



「画像提供 書道パフォーマンス甲子園実行委員会」



Uwatoku Guide -ウワトク ガイド-

～病院を支える様々なスタッフ～

薬局



薬剤部責任者の夏原です。当薬剤部は昨年12月に新たな薬剤師を迎え、5名の薬剤師と4名の薬局補助の計9名で業務を行っています。病院の薬剤部というところのどのような業務をしているか知らない方も多いかと思いますが、昨年にはテレビドラマ「アンサングシンデレラ」の放映もあり、興味を持っていただいた方もいるのではないのでしょうか。

病院の薬剤部の業務は主に調剤所での業務と病棟での業務に大きく分類できます。当薬剤部は人数が少ないながらも、病棟での業務を少しずつ広げているところです。来年度には新たに新人の薬剤師が1名入職する予定ですので、さらに業務の幅を広げ患者様が安全に薬を使用できるように努めて参ります。

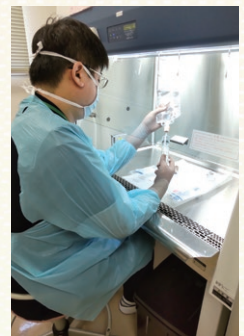
調剤所での業務

調剤所での業務は主に外来や病棟で使用される薬の準備や管理を行うことです。内服の薬は、患者様の希望や病棟での管理状況を見ながら、一つの袋につめたりしているものもあります。注射の中には混ぜる際に注意を要するものもあり、特殊な設備内で薬を混ぜているものもあります。

また、薬が光や温度、湿気などで変性しないように適切な環境で管理を行っています。最近では、話題の新型コロナワクチンについても当院で使用する分は保管、管理を行っています。



間違いのないよう薬の確認をしています。



注射の混注を行っています。

病棟での業務

病棟では主に、入院された患者様が持参された薬の内容を確認するほか、副作用歴やアレルギー歴の聴取、薬に関する説明や指導などを行っています。



病棟回診に同行し多職種カンファレンスに参加します。

チームでの活動

最近では、医師や看護師、リハビリ科や栄養科のスタッフなどと共同して様々な活動を行っています。



褥瘡回診に同行して多職種と意見を交換します。

